



# 大村中学校通信 No19

チーム大中 思いを力に!

学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成

校訓 「 自主・創造・敬愛 」 R2. 10. 12発行 文責 校長 松崎大樹

559名の祈長いで、生徒一人一人の輝きと深い心の動き=「感」を  
しっかり表現できた素敵な第35回体育大会となりました。  
保護者の皆様からの厚いご理解・ご支援に深く感謝します。

日増しに秋の深まりを感じるさわやかな季節をこの大村の地は迎えています。そして、今年はコロナ禍の中、7月の集中豪雨や台風9号・10号などの影響で、気を抜けない日々が続いていただけに、何をすることも最適でおだやかなこの秋という季節が、少しでも長く続くことを切に願っているところです。

さて、去る9月27日(日)に開催しました本校第35回体育大会に際しましては、入場制限の中にも多くの保護者の皆様にご来場いただくと共に、朝早くからPTA役員の皆様には感染防止対策に尽力いただきましたこと、誠にありがとうございました。改めて、保護者の皆様からコロナ禍における体育大会の開催に対し、ご理解とご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、様々なコロナウィルス感染防止対策を講じる中、生徒、教職員が知恵を出し合い、協力する中で、今年度初めての全校生徒で作上げるこの体育大会を、大きな成果をあげる中で無事に終了することが出来ました。また、559名の生徒達も、真剣に各種目、演技に取り組み、一生懸命表現する中で、日頃お世話になっている保護者の皆様に、感動、感銘、感激、感謝の思いをしっかりと届けてくれたことと思います。

私ども、大村中学校は、これからも「コロナ禍だからできない。」ではなく、「コロナ禍でもできること。」をしっかりと考えながら、この体育大会の成功を、更なる大村中学校の発展と生徒一人一人の自己実現のための力として、日々の教育活動に生徒と共に邁進して参ります。今後とも保護者の皆様におかれまして、本校教育活動に、引き続き、ご協力とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



各ブロックリーダーが集まる中、体育委員長の力強い選手宣誓から第35回体育大会が開会されました!



先生方も学級カラーでしっかり開会式を見守っていました。



プログラム0番は「大中体操」です! キレキレの動きご覧あれ。



800mは過酷なレースです。しかし、レース前にはこやかにはいポーズ!



1000mは全学年一斉にスタートする学年のプライドをかけた戦いです。



今年の短距離走は、100m→80mに変更してのレースとなりました。



150mでは中学生らしい力強い走りがたくさん展開されました。



全員リレーは選手全員がヒーローで主役です。みんな輝いていました!



3年生伝統のムカデ競走。各クラスの団結力を見せつけてくれました。



ソーシャルディスタンスを保った玉運びレース。とても面白かったです!



ブロックの意地をかけたブロック対抗リレー。白熱したレースでした!



体育委員長とブロックリーダーの口上で、一気に志気が高まりました。



生徒全員で作上げる体育大会の締めは、伝統の「大中ソーラン」です。この瞬間のために、559名の生徒達は3週間の練習に朝も、昼も、放課後も真剣に取り組んできました。一人一人の生徒達の躍動感、大きな感動をもらいました。

様々なドラマが繰り広げられました! 第35回体育大会「思い出のアルバム」

# 体育大会の輝き、そして頑張りを、次の自分の生き方につなげていく。 そのために大切なこと、それは、「切り替え」と「新たな目標設定」だと考えます！

コロナ禍の体育大会を通して、本校の生徒達は、一つ一つの活動に一生懸命に取り組むことができる、素直で、誠実な生徒達であるということ改めて認識することができました。また、当然ながら、そこにはこれまでご指導いただいた先生方の確かな力添えがあったことも間違いありません。だからこそ、今回の体育大会を通して、ご覧いただきました現在の大村中学校の姿は、まさに生徒達と先生方が思いを一つにして作り上げた「チーム大中」の姿であると思っています。

そんな、「チーム大中」の生徒一人一人にとって、この秋という季節を「実りのある秋」にするために、私達教師が、そして保護者の方々が、一番身近な大人として何を伝え、何を意識させていけばいいのか？ もちろん今回の体育大会での頑張りを賞賛し、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めていくことはとても大切なことだと思います。

しかし、それだけで終わらせるのではなく、「体育大会の輝き、そして頑張りを、次は自分の生き方につなげていく」。その方向性を示唆し、新たな一歩につなげられるよう支援していくことも、より必要なことだと思うのです。

そして、そのために大切なこと、それが「切り替え」と「新たな目標設定」だと考えます。

過去の栄光に固執することなく、次の栄光を成し遂げるために「切り替え」をし、「新たな目標」に向かって歩み出す。またその中でこそ、これまでの経験や知識というものが生きてくるのだと思います。

中学3年生は進路決定まであと2ヶ月を切りました。また1・2年生も次世代のリーダーとして育成していく大切な時期を迎えています。

ぜひ、ご家庭でも、生徒一人一人が自分の力で新たな一歩を踏み出せるよう、この「切り替え」と「新たな目標設定」の2つのキーワードをもとに、お子様方との話し合い・温かい励ましの声かけをよろしくお願いします。



「大中ソーラン」のフィナーレ  
第35回体育大会を記念して創られた人文字  
上「大中」下「35」



## 「新たな目標設定」のために、今後のテストスケジュール

1年生



2年生

3年生

3年実力テスト  
10月22日(木)  
・23日(金)

2学期期末  
テスト  
11月17日(火)  
・18日(水)



大村市  
学力調査  
12月18日  
(金)

進路決定

大村中学校では  
「衣替えの時期」を  
設定していません！



本校では、生徒達に、天候や季節、学校行事や場面に応じて、主体的に制服を選択してもらおうと、「衣替えの時期」を設定していません。

その中で、季節も秋に移り変わり、「中間服」を着ている生徒も見られるようになってきました。生徒の皆さんは、身だしなみに注意して、素敵な制服の着こなしに努めていきましょう。

## いよいよ10月22日(木)「長崎和牛」が大中の給食に登場します！ 「うまか長崎和牛のサイコロステーキば喰わんばたい！」

学校給食は、成長期にある生徒達が、栄養バランスのとれた適切な食事を先生方や友達と一緒に食べながら、心と体の健康の増進を図るものです。そのために、給食センターの職員の皆様や栄養教諭・栄養職員の先生方が、安全・安心な、楽しくおいしい給食を通じて、望ましい食習慣が身につくように日々努力されているのです。

そんな中、地域で生産された生産物をその地域の子供達に食べさせたいという願いからの「地産地消」の一環として、なんと10月22日(木)の給食のメニューに「長崎和牛のサイコロステーキ100g」がいよいよ登場します。日本一になった長崎和牛の味は本当に最高です。生徒の皆さん、日々の学校給食に感謝する中で、楽しみにしててください。

### 日本一になった長崎和牛

長崎和牛は和牛の中でも、長崎県内で肥育して生産された和牛のことで、恵まれた自然条件の中で、生産者が1頭1頭、大切に育てています。長崎和牛は5年に一度開催される「全国和牛能力共進会」という和牛のオリンピックとも呼ばれる大会で、品質の高さで日本一に輝きました。受賞した長崎和牛は、分析の結果、美味しさの秘密であるオレイン酸等の旨み成分を多く含んでいることがわかっています。

